

検討事項（案）

平成24年9月
中小企業庁

1. 基本構造

- 以下のような基礎条件を備えたシステムを構築。
 - ① 利便性
 - ② 相互運用性
 - ③ 信頼性
 - ④ 拡張性・柔軟性

2. 利便性

- 小規模企業者が簡単に操作できるユーザフレンドリーな環境
- 政策情報の一覧性
- 申請業務等のワンストップ化
- コスト（無料部分と有料部分の関係）

3. 相互運用性

- 異なる業務連携アプリの間で、企業や専門家のデータが相互利用可能になること
- 個別のアプリについては、地域の中小ITベンダを含めて多様なプロバイダが提供できる環境を整備

4. 信頼性

- 情報の信頼性確保（なりすまし排除）
- 企業や個人の機微情報についての高いセキュリティの実現
- コミュニティ機能において、いわゆる「荒らし」や誹謗中傷

を排除する仕組み

- 企業が自社の財務データや取引データを格納する際に、当該データが消失しない等の安全性

5. 拡張性、柔軟性

- アプリや利用者の拡大に対応した拡張性
- 官民のドメインがシームレスに運用できるための仕組み
- 他の関連サイトとのシームレスな運用

6. その他の論点

- 開発方針とスペック
- スケジューリング
- 本システムを規律する法令、契約、自治原則等の体系と相互の関係